

教員公募要領



京 都 工 芸 繊 維 大 学
Kyoto Institute of Technology

公募開始日	令和8年9月11日
求人件名	京都工芸繊維大学 教授・准教授・助教・テニュアトラック助教 の採用
機関名	京都工芸繊維大学
機関URL	https://www.kit.ac.jp
採用組織名	別紙のとおり
機関種別	国立大学
担当業務・担当科目等	別紙のとおり
勤務地（住所）	京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス（京都府京都市左京区松ヶ崎）
募集人員	別紙のとおり
採用予定日	令和9年4月1日
研究分野	別紙のとおり
職種	別紙のとおり ※複数の職種が記載されている公募については、希望する職種を全て選択してください。（複数選択可）
勤務形態	常勤
任期	教授・准教授：任期なし 助教：任期あり（5年）・再任可 テニュアトラック助教：任期あり（5年）・再任不可
応募資格	次のいずれにも該当する者 ・公募する研究分野又は関連する分野で博士の学位を有する者又は研究上の業績が博士の学位を有する者に準ずると認められる者 ・公募する専門分野に関して顕著な研究・教育業績を有し、熱心な研究・教育意欲を有する者 ※その他の応募資格は、別紙のとおり
待遇	本募集により採用された場合の給与は年俸制となります。詳細は、本学規則集(下記サイト)をご確認ください。 https://www.kit.ac.jp/01/reiki_int/reiki_taikei/taikei_default.html また、任期中に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業等により研究活動が滞ることがないように研究支援員を配置すると共に、助教として採用された場合は休業期間に応じ任期を延長することができます。 給与（年収） ・教授：900万円～ ・准教授：700万円～ ・助教・テニュアトラック助教：500万円～ ※経歴等により決定されます。 P I 人件費支出制度を導入しています。 P I 人件費支出制度は、研究活動に従事するエフォートに応じ、研究代表者又は研究分担者（P I 等）本人の希望により、競争的研究費等の直接経費からP I 等の人件費の支出が可能となる制度です。 これにより確保された経費についてP I が使途を指定し、執行することができます。（P I の給与に上乗せすることも可能です。ただし、1年度の支給総額の上限はP I の年間給与額の60%となります。） 詳細は以下URLよりご確認ください（日本語のみ）。 https://research.web.kit.ac.jp/pijinkenh/ 勤務時間等：専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日7時間45分、週38時間45分） 試用期間：有り（6ヶ月） 受動喫煙防止のための取組：施設内禁煙（ただし指定場所に喫煙所設置）

教員公募要領



京 都 工 芸 繊 維 大 学
Kyoto Institute of Technology

テニユアトラック制度について	任期5年（再任不可）を原則とするテニユアトラック制度 独立した研究室が運営できるよう、テニユアトラック期間中の研究費支援、研究スペースの確保、メンターの配置等の支援を行います。 着任後、年次評価（採用から1年経過後）、中間審査（採用から2年6月経過後）、最終審査（テニユア審査・採用から4年経過後）を行います。 最終審査の結果、合格すればテニユアポストである准教授に昇任します。中間審査で研究計画の進捗が早く、かつテニユアトラック期間中の研究業績が特に優れている場合は、その時点でテニユアポストである准教授としての適格性について審査する場合があります。 なお、最終審査でテニユアポストである准教授への昇任が見送られた場合は、テニユアトラック期間の満了をもって労働契約期間を終了します。 また、テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業等により研究活動が滞ることがないよう研究支援員を配置すると共に、休業期間に応じテニユアトラック期間を延長することができます。 研究環境：採用者には研究スペースと1年目にスタートアップ研究費（300万円）が提供され、エフォート率65%の研究時間がテニユアトラック期間にわたり保障されます。 最終審査：採用から4年経過後に開始され、テニユアトラック期間満了の6月前までにテニユア授与の判定を行い、合格者は准教授として昇任します。 最終審査は中間審査結果及び改善要求した事柄の是正状況を確認のうえ、研究計画の進捗状況、テニユアトラック期間中の研究業績及びテニユアポストである准教授の適格性について審査を行います。
応募締切日	令和8年10月23日（金）（17時必着）
応募書類	履歴書（上記「公募のURL」より「様式1」をダウンロード） 研究業績リスト（上記「公募のURL」より「様式2」をダウンロード） 応募先の組織名が確認できる書類（上記「公募のURL」より「様式3」をダウンロード） 競争的資金獲得状況一覧（年度、研究テーマ、資金名称、代表者・分担者の別、金額などを記載すること。これまでに競争的資金の獲得実績が無い場合はその旨を記載） 主要な著書、論文5編（別刷り、コピー可）各1部 教育に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語） 研究に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語） 応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先（電子メールアドレスも含む） 職種の希望に係る調書（上記「公募のURL」よりダウンロード） ※複数の職種が記載されている公募に応募する場合のみ提出してください。 その他必要な応募書類は、別紙のとおり。
選考方法	書類審査を通過した候補者には面接を行います。また、選考の過程で追加書類の提出をお願いすることがあります。なお、これらの場合において旅費、郵送料等の費用は応募者の負担となります。
問い合わせ先	京都工芸繊維大学 人事労務課 問い合わせ先のメールアドレスについては、別紙のとおり。

教員公募要領



京 都 工 芸 繊 維 大 学
Kyoto Institute of Technology

応募書類提出先	上記の書類の電子データ（PDF形式）を京都工芸繊維大学人事労務課までEメールにて提出してください。提出先のメールアドレスについては、別紙のとおり。 ※メールアドレスの件名は、「京都工芸繊維大学〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類の送付」としてください。 なお、電子データの容量の都合上、10Mを超える場合は、分割して送付いただくか、大容量ファイル送信システムを利用してください。 応募受領後、受領確認メールを送信します。数日お待ちいただいても受領確認メールが届かない場合は、ご連絡ください。 電子媒体に格納して郵送する場合は以下の住所まで送付してください。 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎 京都工芸繊維大学 人事労務課 ※封筒に「〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類」と朱書き、簡易書留または宅配便にて送付して下さい。
備考	応募書類は返却しません。また、応募書類および書類に記載された情報は本選考の用途以外には使用しません。 本学は、多様な人材が活躍できるダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでおり、男女共同参画社会基本法および男女共同参画基本計画の趣旨を尊重し、男女雇用機会均等法第 5 条に則した人事を行っています。 別紙に記載の担当業務以外に、入試等の大学運営、社会貢献等に関わる業務も担っていただきます。 適任者がいない場合には、採用を見送ることもあります。 ※その他の特記事項については、別紙のとおり。

別紙

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
1	材料化学系	低炭素・省エネルギー材料化学分野	京都工芸繊維大学材料化学系では、無機材料分野における助教を1名募集することになりました。次世代エレクトロニクスを支える材料及び実装技術や、分子性資源の変換・貯蔵を担う材料などを例として、低炭素化、省エネルギー化、資源の有効利用に資する研究を推進していただける方を求めます。また、教育・研究に高い意欲と情熱を持ち、周囲と協調しながら、本学の教育研究活動に積極的に貢献していただける方を求めます。なお、常任職に無機材料・異種界面科学分野もしくはナノ物性化学分野の研究室主宰者と連携して研究を進展させる能力を備えている方を求めます。 関連する教育組織： (学部)応用化学課程材料化学デザインコース (大学院)材料創製化学専攻/材料制御化学専攻[博士前期課程]	1名	担当業務： ・材料化学を基盤とした先進的研究の実施 ・上記専門分野における大学院・学部生に対する教育・研究指導 ・管理運営業務 担当科目： ・実験及び演習科目 ・「物理化学」、「無機化学」に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：複合材料、界面 大分類：ものづくり技術 小分類：電子デバイス、電子機器 大分類：ナノテク・材料 小分類：薄膜、表面界面物性 大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノ構造化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：機能物性化学	助教	・博士の学位を有すること、または取得見込みであること ・業務遂行に必要な高い日本語能力を有すること		博士後期課程に在学中で、着任時までに博士の学位を取得見込みの方からの積極的な応募を歓迎します。着任時期については、相談に応じます。	jiji-saiyou06@jm.kit.ac.jp
2	材料化学系	先端材料物理学分野	京都工芸繊維大学材料化学系では、高分子・有機材料分野におけるテニュアトラック助教または准教授を1名募集することになりました。当該分野において、主に物理学的な観点から、個人の発想に基づき、独創性と創造性に優れた独自の研究を推進していただける方を求めます。特に、従来の学術的枠組みにとらわれることなく、時代に即した新しい研究領域の開拓に強い意欲を示し、学術と産業の両面から、科学技術の発展に貢献できる人材を求めます。本公署は、本学材料化学系の中核を担う人材を募集するものであり、教育研究活動に大きな情熱を持ち、協調性をもって管理運営業務に積極的に貢献していただける方を求めます。 関連する教育組織： (学部)応用化学課程高分子材料デザインコース (大学院)材料創製化学専攻/材料制御化学専攻[博士前期課程]及び、物質・材料化学専攻[博士後期課程]	1名	担当業務： ・材料化学を基盤とした先進的研究の実施 ・上記専門分野における大学院・学部生に対する教育・研究指導 ・管理運営業務 担当科目： ・実験及び演習科目 ・「物理学」、「統計熱力学」、「化学」などの理工系基礎科目に関連した学部、大学院科目	大分類：ライフサイエンス 小分類：指定なし 大分類：ナノテク・材料 小分類：指定なし 大分類：エネルギー 小分類：指定なし 大分類：ものづくり技術 小分類：指定なし 大分類：自然科学一般 小分類：指定なし	テニュアトラック助教、または准教授	・博士の学位を有すること ・業務遂行に必要な高い日本語能力を有すること		【着任後の研究環境】 ・独立した研究室を立ち上げていただきます。 ・200～300m ² の選択的な研究スペースを提供します。 ・毎年2～3名程度の学生配属があります。 【女性研究者への支援】 材料化学系では、女性研究者の採用・育成および研究継続を積極的に支援しています。本公署では女性研究者の応募を特に歓迎します。なお、男性研究者の応募を妨げるものではありません。 女性研究者を採用した場合、研究活動の立ち上げと、将来の競争的資金獲得を支援するため、以下のスタートアップ研究助成を行います。 支援額：原則、年間100万円程度 支援期間：採用後3年間程度 総支援額：最大300万円程度 対象経費：設備・備品費、旅費、学会参加費、人件費、謝金、論文投稿料、英文校閲費等 支援目的：研究環境の整備、成果発信および外部資金獲得に向けた研究基盤の形成 支援額および期間は、研究費の獲得状況等を踏まえて決定し、一定額以上の競争的資金等を有する場合は、支援対象外とすることがあります。このほか、研究支援員制度等の女性研究者支援制度も利用できます。 https://www.sankaku.kit.ac.jp/researcher/index.html	jiji-saiyou07@jm.kit.ac.jp
3	材料化学系	光電子材料・デバイス物理学分野	京都工芸繊維大学材料化学系では、光・電子材料分野とデバイス物理学分野を融合した研究領域において、准教授を1名募集することになりました。本公署では、有機化学・無機化学、有機材料・無機材料といった特定の学術分野や材料系にとらわれず、複数の研究領域を横断して先進的な研究を展開できる方を求めます。具体的には、有機半導体、カーボン材料、導電性高分子、有機・無機ペロブスカイト等を対象とした材料合成をはじめ、材料の配向制御や結晶成長、光・電子物性の評価、電極触媒を含む機能現象の解明、ならびにデバイス応用に至るまで、複数の幅広い研究分野において優れた業績を有する方を歓迎します。さらに、これらの知識、技術および研究手法を分野横断的に活用し、新規機能性材料の創製から、高機能な光・電子デバイスの設計・開発に至るまで、一貫した研究を推進できる方を求めます。本公署は、本学材料化学系の中核を担う人材を募集するものであり、教育研究活動に大きな情熱を持ち、協調性をもって管理運営業務に積極的に貢献していただける方を求めます。 関連する教育組織： (学部)応用化学課程高分子材料デザインコース (大学院)材料創製化学専攻/材料制御化学専攻[博士前期課程]及び、物質・材料化学専攻[博士後期課程]	1名	担当業務： ・材料化学を基盤とした先進的研究の実施 ・上記専門分野における大学院・学部生に対する教育・研究指導 ・管理運営業務 担当科目： ・実験及び演習科目 ・「物理学」などの理工系基礎科目や課程専門科目に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：指定なし	准教授	・博士の学位を有すること ・業務遂行に必要な高い日本語能力を有すること			jiji-saiyou08@jm.kit.ac.jp
4	分子化学系	機能物性化学または生体関連化学分野	先端医療やヘルスケアのさらなる進展には、複体系である生命現象を、定量的に解明し、統一的に理解するための新たな理論・概念がより強く求められている。分子化学系では、生命現象の解明にかかわる基礎から応用までの研究を推進できる人材を幅広い分野から教授として募集する。	1名	担当業務： ・生命科学(生物物理、生体関連化学、生化学、分子生物学、機能物性化学を含む)を学術基盤とし、社会の様々な課題解決を指向した先進的研究の実施ならびに国際展開 ・上記専門分野における学生指導 担当科目： ・物理化学等に関連した学部、大学院科目 ・化学に関連した学部、大学院科目	大分類：ライフサイエンス 小分類：生物有機化学 大分類：ライフサイエンス 小分類：構造生物学 大分類：ライフサイエンス 小分類：生物物理化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノバイオサイエンス 大分類：ナノテク・材料 小分類：生体化学	教授	(1)博士の学位を有すること (2)学部・大学院の教育に意欲的に取り組むこと (3)物理化学の教育に関する経験と実績を有すること			jiji-saiyou09@jm.kit.ac.jp
5	分子化学系	生物化学工学分野	バイオものづくりやバイオ医薬品の発展に伴い、生体分子や分子集合体の設計・制御に基づく新たなプロセス開発への期待が高まっている。特に、バイオコンジュゲート、バイオ界面、分子集合体などの分子設計・自己組織化・界面制御を基盤とした工学研究は、生物化学工学の新たな展開として重要性を増している。こうした背景のもと、分子化学系では、生物化学工学に関する先進的な研究を推進できる研究者を准教授として募集する。	1名	担当業務： ・生物化学工学を学術基盤とした先進的研究の実施ならびに国際展開 ・上記専門分野における学生指導 担当科目： 化学工学および生物化学工学に関連した学部、大学院科目	大分類：ものづくり技術 小分類：バイオ機能応用、バイオプロセス工学 大分類：ものづくり技術 小分類：触媒プロセス、資源化学プロセス 大分類：ものづくり技術 小分類：反応工学、プロセスシステム工学	准教授	(1)博士の学位を有すること (2)学部・大学院の教育に意欲的に取り組むこと (3)化学工学、生物化学工学の教育に関する十分な経験と実績を有すること (4)生体分子の設計・機能制御やバイオ界面・分子集合体の制御に関する基礎研究または応用研究を通じて、生体分子の利用・生産・機能化に関する工学研究を推進できる人			jiji-saiyou10@jm.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
6	分子化学系	高分子合成化学分野	我が国の素材産業の強みをさらに発展させるために、将来の課題に対応できる革新的素材創出の必要性がより一層高まっている。高分子の基本的な特性はその繰り返し構造に基づくものであることから、高分子の革新的な特性の開拓には、主鎖骨格の設計が最も効果的である。革新的な高分子新素材を創出するために、最先端の有機合成概念を取り入れて重合化学の新機軸を打ち立てる「重合反応のノーベンション」が求められている。	1名	担当業務： ・革新的新素材を創出するための、有機合成化学に立脚した新たな重合反応の開拓に関する教育・研究 ・独自性の高い機道を活かした革新的な高分子材料の創成と機能開拓に関する教育・研究 ・上記専門分野における学生指導 担当科目： ・有機化学、高分子化学等に関連した学部、大学院科目 ・化学に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：高分子化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：高分子材料	教授	(1)博士の学位を有すること (2)学部・大学院の教育に意欲的に取り組むこと (3)有機化学と高分子合成化学の教育に関する十分な経験と実績を有すること (4)有機化学と高分子合成化学を基盤とする新規性の高い高分子材料の設計と合成に強みを持ち、独自の重合反応の開拓に立脚した新規主鎖骨格の設計、ならびに機能性材料の開拓に関わる研究を基礎から応用レベルまで推進できること。			jrgi-saiyou11@jm.kit.ac.jp
7	分子化学系	生体高分子化学分野	本学分子化学系では、「生命科学」と「高分子化学」の融合領域を発展させることを目的として、生体関連化学分野に強みを持ち、生体高分子の工学的利用ならびに創薬分野への応用研究を、基礎から応用まで幅広く推進できる人材を教授として募集する。	1名	担当業務： ・生体関連化学、高分子化学、有機化学を学術基盤とし、社会の様々な課題解決を指向した先導的研究の実施ならびに国際展開 ・上記専門分野における学生指導 担当科目： ・生化学、生体関連化学等に関連した学部、大学院科目 ・化学に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：高分子化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：生体化学	教授	(1)博士の学位を有すること (2)学部・大学院の教育に意欲的に取り組むこと (3)有機化学と高分子合成化学の教育に関する十分な経験と実績を有すること (4)タンパク質・ペプチド鎖等の生体分子を高分子骨格として活用し、バイオ医薬品を対象とした創薬基礎研究、ならびに生体高分子の工学的利用に関する研究を基礎から応用レベルまで推進できること。			jrgi-saiyou12@jm.kit.ac.jp
8	電気電子工学系	広い範囲での電気工学あるいは電子工学分野 【女性限定】	本学系では、我が国が目指すべき未来社会であるSociety 5.0において、サイバー空間とフィジカル空間をつなぐ手段としてのエレクトロニクスを中心に据えた複数の学術・研究分野を対象としている。 一方で、我が国では地系分野の技術者不足が深刻な問題となっており、対応策の一つとして、理系女子学生・女性研究者・教員を増やすことが挙げられている。女子学生・女性研究者が活動しやすい環境を整える目的で、電気工学、電子工学分野の研究アクティビティを高める役割を担える有望かつ優秀な若手あるいは中堅の女性人材を公募する。	1名	担当業務： 電気工学、電子工学を学術基盤とし、計算機システム、電気エネルギー、電力工学、通信工学、電気電子材料工学、電子デバイス、電子機器、計測工学、光工学、光子科学、フォトリソ、プラズマ応用科学、半導体、光物性、磁性、超伝導、強相関など広い範囲での電気工学ならびに電子工学の基礎や応用先の開拓に関する研究の実施と国際展開、および学生の研究指導、大学の定める業務 担当科目： 電子システム工学および物理学に関する学部および大学院科目	大分類：ものづくり技術 小分類：電子デバイス、電子機器 大分類：ものづくり技術 小分類：電気電子材料工学 大分類：ナノテク・材料 小分類：光子科学 大分類：自然科学一般 小分類：磁性、超伝導、強相関 大分類：エネルギー 小分類：プラズマ応用科学	教授、准教授、または助教	博士の学位を有し(採用日まで取得見込みを含む)、担当科目の講義を日本語および英語で担当できること。また、教育および研究に熱意を持ち、専門分野において現在優れた研究を行っており、大学運営に協力的な方。 (4)タンパク質・ペプチド鎖等の生体分子を高分子骨格として活用し、バイオ医薬品を対象とした創薬基礎研究、ならびに生体高分子の工学的利用に関する研究を基礎から応用レベルまで推進できること。また、本公募は社会的責任を果たすことを目的として、本公募は女性のみに限定する。			jrgi-saiyou13@jm.kit.ac.jp
9	電気電子工学系	光エレクトロニクス・ナノフォトニクス分野	光エレクトロニクス・ナノフォトニクスは、AI・量子技術・生体半導体・医療を支える基盤技術として世界的な研究開発競争が急速に激化している。本学系ではこの分野での研究力強化を推進している。今回の公募では、2040年以降の大学競争力強化も見据え、優れた研究実績と国際的ネットワークを有する若手教授クラスの研究者を公募する。	1名	担当業務： 光エレクトロニクス・ナノフォトニクスを学術基盤とした新規技術開拓に関する研究の実施と国際展開、および学生の研究指導、大学業務 担当科目： 電子システム工学および物理学に関する学部および大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：光工学、光子科学 大分類：ものづくり技術 小分類：電子デバイス、電子機器 大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノ構造物理	教授	光エレクトロニクス・ナノフォトニクス分野における高い専門性と実績を有するとともに、量子情報処理・計測技術やスピントロニクス、マテリアルサイエンスなどといった周辺分野との融合にも高い水準で積極的に取り組むことができ、学術研究から応用開発まで幅広く展開する意欲にあふれた人材であること。また、担当科目の講義を日本語および英語で担当できること。			jrgi-saiyou14@jm.kit.ac.jp
10	機械工学系	AI・HPC分野	本件は、AI・機械学習および高性能計算の進展を背景に、本学系が実績を有する流体シミュレーションと分子動力学シミュレーションを発展させ、両分野を横断する次世代のシミュレーション科学を強化することを狙いとしている。これにより、マクロな流体・輸送現象とミクロな分子運動を統合的に扱うマルチスケール研究を推進し、AI for Scienceおよびデジタルツイン技術を基盤として、材料、バイオ・メディカル、エネルギー・環境等の分野への展開を目指す。	1名	担当業務： 機械工学を学術基盤としたAI・HPC分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 機械工学、計算科学、流体力学に関連した学部、大学院科目	大分類：情報通信 小分類：計算科学 大分類：情報通信 小分類：高性能計算 大分類：ものづくり技術 小分類：高性能計算 大分類：ナノテク・材料 小分類：複合材料、界面 大分類：ナノテク・材料 小分類：応用物理一般	助教	数値流体力学、分子動力学、計算力学、計算材料科学、マルチスケールシミュレーション、AI・機械学習、高性能計算またはデータ駆動型モデリングのいずれかに関する基礎的な知見と研究実績を有すること。流体シミュレーション、分子動力学およびAI・HPCを根拠的に学び、既存研究と連携しながら関連分野へ柔軟に展開する意欲を有すること。また、将来的に本学系のシミュレーション科学を担う中核的研究者として成長し得る高い潜在能力を有すること。	教育実績・学会活動リスト (公募のURLより様式4をダウンロード)		jrgi-saiyou15@jm.kit.ac.jp
11	機械工学系	AI・HPC分野	本件は、AI、データ科学および高性能計算の急速な進展を背景に、これらを数値シミュレーションや物理現象の導出と融合し、機械工学における新たな研究方法論を開拓することを狙いとしている。AI for Scienceおよびデジタルツイン技術を共通基盤として、ロボティクス、エネルギー・環境、バイオ・メディカル、マテリアルの各分野を横断する研究を推進し、本学系の研究・教育体制の高度化を目指す。	1名	担当業務： 機械工学を学術基盤としたAI・HPC分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 機械工学、計算科学に関連した学部、大学院科目	大分類：情報通信 小分類：計算科学 大分類：情報通信 小分類：高性能計算 大分類：情報通信 小分類：計算機システム 大分類：ものづくり技術 小分類：流体工学	助教	AI for Science、物理インフォームド機械学習、サロゲートモデリング、デジタルツイン、大規模数値シミュレーション、機械学習を用いた設計・制御または高性能計算のいずれかに関する知見と研究実績を有すること。機械工学における物理現象への理解を基盤として、AI・HPCを複数の研究分野へ横断的に展開する意欲を有すること。また、重予コンビューティングを含む次世代計算技術にも関心を持ち、既存分野との連携を通じて将来的に独立した研究領域を形成し得る高い潜在能力を有すること。	教育実績・学会活動リスト (公募のURLより様式4をダウンロード)		jrgi-saiyou16@jm.kit.ac.jp
12	機械工学系	AI・HPC分野	本件は、AI・機械学習および高性能計算の進展を背景に、分子動力学、粗視化シミュレーション、マルチスケール解析を基盤として、ソフトマター材料、分子集合体、高分子・界面材料等の構造形成、ダイナミクスおよび物性発現機構を解明し、AI・HPCを活用した材料設計へ展開する研究力を強化することを狙いとしている。これにより、AI for Scienceを中核としたシミュレーション科学を推進し、マテリアル、バイオ・メディカル、エネルギー・環境分野との連携を促進する。	1名	担当業務： 機械工学を学術基盤としたAI・HPC分野に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 機械工学、計算科学、熱力学に関連した学部、大学院科目	大分類：情報通信 小分類：計算科学 大分類：情報通信 小分類：高性能計算 大分類：ナノテク・材料 小分類：高分子材料 大分類：ナノテク・材料 小分類：複合材料、界面 大分類：ものづくり技術 小分類：熱工学	准教授	分子動力学および粗視化シミュレーションに関する優れた知見と研究実績を有し、ソフトマター材料、分子集合体、高分子・界面材料等を対象として、原子・分子スケールからメソスケールにわたる構造形成、ダイナミクスおよび物性発現機構を解明できる人材であること。さらに、AI・機械学習、高性能計算、データ駆動型モデリングを融合した材料の予測・最適化・設計に意欲を有し、関連する教育、多分野連携および国際的研究活動を主体的に推進できること。	教育実績・学会活動リスト (公募のURLより様式4をダウンロード)		jrgi-saiyou17@jm.kit.ac.jp

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
13	情報工学・人間科学系	計算機システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、高性能計算、情報学基礎論分野	京都工芸繊維大学情報工学・人間科学系(情報工学専攻、情報工学課程)は、現実空間の多様な情報をIoTセンサデバイスなどにより仮想空間に取り込み、大規模データ処理技術を駆使してデータ分析および知識化を行い、人間社会にフィードバックしていくヒューマンセントリックなサイバーフィジカルソサエティの実現を目指して、「人間中心」の情報工学基盤とその社会展開に関する研究を推進しています。本公募では、特にデータや情報の扱い方を極め、知的活動を支える計算機科学・情報工学基盤分野、および安心・安全・信頼できる情報通信・ネットワーク・AI基盤分野における、高度情報専門人材の確保に向けた研究・教育体制の強化を担う教員を募集します。	2名	担当業務： ①情報ネットワーク・情報セキュリティ分野およびこれらの関連分野に関する研究教育および学生の研究指導、情報工学専攻・課程における講義・演習科目の担当、および大学運営業務、あるいは ②計算機システム・高性能計算分野およびこれらの関連分野に関する研究教育および学生の研究指導、情報工学専攻・課程における講義・演習科目の担当、および大学運営業務 担当科目： 情報工学(特に右記の研究分野に関する専門科目)に関連した学部、大学院科目	大分類:情報通信 小分類:計算機システム 大分類:情報通信 小分類:情報ネットワーク 大分類:情報通信 小分類:情報セキュリティ 大分類:情報通信 小分類:高性能計算 大分類:情報通信 小分類:情報学基礎論	教授、准教授、助教、またはデニュアトラック助教	日本語および英語による実験・演習科目の担当、講義、研究指導が可能であること。		jrgi-saiyou18@jm.kit.ac.jp	
14	繊維学系	グリーンプロセス分野	カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーの実現に向け、材料設計とプロセス・システム設計を統合し、ライフサイクル全体の環境負荷低減を図る研究の重要性が高まっている。このため、循環型ウェルネステクノロジーを支えるグリーンプロセス科学・化学工学の新たな学術領域を開拓する新規教員を募集する。	1名	担当業務： バイオペースマテリアル学分野の教育・研究に関わる業務 担当科目： バイオペースマテリアル学専攻グリーンプロセス分野の研究全般と講義・演習科目の担当	大分類:ものづくり技術 小分類:反応工学、プロセスシステム工学	助教、デニュアトラック助教、または准教授	(1)博士の学位を有すること (2)高度な研究遂行能力を有すること (3)大学院教育に意欲的に取り組むこと (4)化学工学分野において顕著な業績を有すること	教育実績・学会活動リスト(公募のURLより様式4をダウンロード)		jrgi-saiyou19@jm.kit.ac.jp
15	繊維学系	機能性高分子材料プロセス分野 【女性または外国籍研究者限定】	近年、カーボンニュートラルや循環型社会の実現に向けて、高分子・繊維材料分野では、持続可能な材料設計と高機能材料プロセス技術の高度化が重要な研究課題となっている。複合材料、機能性フィルム、ナノファイバー、3Dプリンティングなどの先進材料プロセスに加え、AI・DX技術を活用したデータ駆動型材料開発も急速に進んでいる。このような背景のもと、先端ファイブロ科学専攻では、高分子・繊維材料を基盤として、材料設計、構造制御、機能性評価および材料プロセスを統合的に推進し、持続可能社会に貢献する高機能材料の研究・教育を担う若手研究者を募集する。	1名	担当業務： 先進材料プロセスを基盤とした持続可能社会に資する高機能材料創製に関する教育研究および学生の研究指導 担当科目： 先端ファイブロ科学専攻における繊維材料科学に関連した大学院科目	大分類:ナノテク・材料 小分類:高分子材料 大分類:ナノテク・材料 小分類:材料加工、組織制御 大分類:ナノテク・材料 小分類:複合材料、界面 大分類:環境 小分類:環境材料、リサイクル技術	助教、またはデニュアトラック助教	高分子・繊維材料分野を基盤とし、機能性高分子材料、複合材料、機能性フィルム、ナノファイバー、3Dプリンティング等の材料プロセス、または材料設計、構造制御、機能性評価に関する研究に取り組む、持続可能社会に資する高機能材料の創製を推進できること。また、AI・DX技術やデータ駆動型材料開発との融合にも意欲を有し、先端ファイブロ科学専攻教員と連携しながら教育・研究、国際共同研究および産学連携を積極的に推進できる能力、熱意および将来性を有すること。	本公募は、本学におけるダイバーシティ推進のための教員採用であり、女性または外国籍を有する者を対象とする。	jrgi-saiyou20@jm.kit.ac.jp	
16	繊維学系	デジタル電子テキスタイル分野	衣服などのテキスタイルに、生体センシング機能や介入動作機能など電気電子的な新たな機能を付加して利活用する電子テキスタイル分野が世界的に活発化している。この電子テキスタイルを、ヒトと機械学習(AI)などを組み合わせたデジタル空間と高度に融合した「デジタル電子テキスタイル分野」の発展は、健康・長寿テキスタイルの創出や感性・こころのデジタル変換といった、人類に新たなフェーズの価値や拡張をもたらし、ヒトが中心のWellbeing向上に大いに資することが期待される。本募集は、この「デジタル電子テキスタイル分野」の研究を国内外を先進して推進し、我が国における新産業の創出という志を持って産業界とも活発に連携しながら、創意と熱意を持ってこの研究を推進し、かつ得られた研究成果を分かりやすく広く社会に積極的アウトリーチする人材を求める。	1名	担当業務： 繊維工学および電気電子工学を学術基盤とした「デジタル電子テキスタイル分野」の先進的研究の実施 上記の研究分野に関連する教育・研究指導 繊維学系および大学における管理運営業務 担当科目： 先端ファイブロ科学専攻における繊維工学または電気電子工学またはデジタル電子テキスタイル分野に関連した大学院科目	大分類:ものづくり技術 小分類:電子デバイス、電子機器 大分類:人文・社会 小分類:家政学、生活科学 大分類:情報通信 小分類:ヒューマンインタフェース、インタラクション	教授	・博士の学位を有すること ・業務の遂行に必要な高い日本語能力を有すること ・スマートテキスタイルやeテキスタイルといった電子テキスタイル分野において卓越した研究実績を有し、かつ着任後は当該分野において国内外を先進する研究が実施できること ・本学における研究と教育に熱意があること ・繊維工学および電気電子工学の双方において研究経験と教育経験を有すること	本学共通の応募書類に加えて以下の応募書類の提出を要す。 ・研究代表者として取り組んだ企業との産学連携実績の一頁(研究費の受け入れがあった場合のみ記載。企業名は匿名表記とし、秘密保持に支障のない範囲で記載すること。) ・応募者の研究に係るアウトリーチ活動の一頁(プレスリリースやメディア掲載など、学会発表と論文発表は除く。)	jrgi-saiyou21@jm.kit.ac.jp	
17	デザイン・建築学系	イノベーションマネジメント、デザイン戦略分野	京都工芸繊維大学デザイン学専攻では、本学創設以来のミッションである京都の文化に根ざした芸術と科学の融合を軸として、社会実装に取り組むスタジオ型の教育を行い、海外研究機関との共同研究プロジェクトへの学生の参入によって国際的に活躍できる未来創造Tech Leaderの育成を目指すプログラムを展開する。その主要スタジオの一つとなるイノベーションマネジメントのスタジオでは、デザイン戦略や事業構想、経営戦略に長けた人材を求めている。マネジメントという多様な分野のため、教育経験のみならず実務経験を有していること、さらに、本コースは英語でコミュニケーションを行うことを一つの特徴としているため、海外での研究・教育経験を有する人材が望ましい。	1名	担当業務： 経営学・デザイン学に関する教育研究および専門分野に関する学生の指導 担当科目等： ・学部デザイン・建築学課程の以下の授業担当「デザイン・建築基礎実習Ⅰ」「デザインプロジェクトⅠ～Ⅳ」,「卒業研究」等 ・大学院前期課程デザイン学専攻の新設グローバルデザインコースのイノベーション・マネジメント系の演習科目のほか、以下の授業担当「グローバルイノベーションプログラム」「デザインプロジェクトB」「特別研究(特定課題制作および論文指導)」等 ・大学院後期課程デザイン学専攻の以下の授業担当「研究指導」等	大分類:人文・社会 小分類:経営学 大分類:人文・社会 小分類:デザイン学 大分類:情報通信 小分類:ロボティクス、知能機械システム 大分類:情報通信 小分類:ヒューマンインタフェース、インタラクション	准教授	・博士の学位を有すること。 ・海外での研究経験があること。 ・日本語による学部・大学院の教育指導、英語による大学院教育指導ができること。		jrgi-saiyou22@jm.kit.ac.jp	
18	デザイン・建築学系	グラフィックデザイン分野	グラフィックデザイン分野において、単なる造形技術や視覚表現の研究に留まらず、京都に蓄積された工芸・産業・視覚文化への理解を基盤として、歴史と現代社会を接続できる人材が求められる。とりわけ、近代以降の図象教育やグラフィックデザインが、京都の伝統産業や都市文化の形成に果たしてきた役割を踏まえながら、新たな表現や社会的価値へ展開できる視点が重要である。また、工芸、写真、映像、印刷など多様な表現領域に関心をもち、自らもデザインの実践者として制作活動を継続し、理論と実践を伴った教育、研究を展開できることが望ましい。さらに、印刷技術を用いた実験的創作やメディア表現にも積極的に取り組み、未来に向けた視覚文化の可能性を探究できることが期待される。加えて、京都工芸繊維大学美術工芸資料館が所蔵する図案資料や工芸資料を活用し、アーカイブを教育・研究へ接続できる視点を有するとともに、資料館業務にも柔軟に関わるこのできる人材が望まれる。	1名	担当業務： デザイン学に関する教育研究および専門分野に関する学生の指導 ・美術工芸資料館の展覧会事業、運営業務 担当科目等： ・学部デザイン・建築学課程の以下の授業担当「デザイン・建築基礎実習Ⅰ」「プロジェクトデザインⅠ～Ⅳ」,「ヴァジュアルコミュニケーションデザイン論Ⅰ」「卒業研究」等 ・大学院前期課程デザイン学専攻の以下の授業担当「インタラクションデザインⅠ・Ⅱ」「プロジェクトデザインC」「特別研究(特定課題制作および論文指導)」等 ・大学院後期課程デザイン学専攻の以下の授業担当「視覚文化論Ⅰ」研究指導」等	大分類:人文・社会 小分類:デザイン学 大分類:人文・社会 小分類:博物館学 大分類:人文・社会 小分類:デザイン学 大分類:情報通信 小分類:ヒューマンインタフェース、インタラクション	准教授	・デザインに関わる実務経験を有すること。 ・博士の学位を有すること。 ・工芸に関する研究実績があること。 ・展覧会の企画、運営の実績があること。 ・日本語による学部・大学院の教育指導の経験を有していること。	ポートフォリオ(作品集・研究事例集)	jrgi-saiyou23@jm.kit.ac.jp	

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	職種	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
19	デザイン・建築学系	生活デザイン分野	デザインを単なる造形技術としてではなく、歴史・文化・産業・社会との関係性の中で総合的に捉え、研究と実践の両側面から教育を展開できる人材を求める。とりわけ、工芸や地域文化への理解に加え、サステナビリティ、流通、知的財産、リ・デザインなど、多角的視点からのものづくりを捉え直す姿勢が重要である。そのため、理論研究に裏打ちされた批評性と、実制作に根ざした感覚の双方を兼ね備えた研究者を必要とする。 また教育面では、学生に対して単なる技術指導を行うだけでなく、制作の背景にある思想や社会的意味を問い直しながら、主体的な思考を促す指導力が求められる。さらに、家具・インテリア・プロダクト・工芸など複数の領域を横断しつつ、展覧会、アーカイブ、ミュージアム活動、キュレーションなどを展開し、デザインを社会へひらいていく視野を持つことも重要である。加えて、海外のデザイン教育や研究動向への理解を備え、異文化環境の中で教育・研究を展開できる能力が求められる。	1名	担当業務： デザイン学に関する教育研究および専門分野に関する学生の指導 担当科目等： ・学部デザイン・建築学課程の以下の授業担当 「デザイン・建築基礎実習」、「デザインプロジェクトⅠ～Ⅳ」、「卒業研究」等 ・大学院前期課程デザイン学専攻の以下の授業担当 「人と場」「グローバルイノベーションプログラム」「デザインプロジェクトB」「特別研究(特定課題制作および論文指導)」等 ・大学院後期課程デザイン学専攻の以下の授業担当 「造形芸術論」「研究指導」等	大分類: 人文・社会 小分類: デザイン学 大分類: 社会基盤 小分類: 建築史・意匠	准教授	・デザインに関わる実務経験を有すること。 ・博士の学位を有すること。 ・海外での研究経験があること。 ・家具およびプロダクトデザインの研究および製品開発の実績があること。 ・日本語による学部・大学院の教育指導、英語による大学院教育指導ができること。	ポートフォリオ(作品集・研究事例集)		jrqi=saiyou24@jm.kit.ac.jp
20	デザイン・建築学系	建築構造分野	大きな自然災害が多発し、建物と人命を守ることが改めて意識されている。また、人材不足により、伝統技術の伝承が難しくなっており、伝統技術を残していく技術が不可欠となっており、文化財などの貴重な建築を、世代を超えて社会に残していくためには、建物の耐震性を確保し、伝統技術を伝承することが求められる。日々進化するデジタル技術は、歴史的建物を世代を超えて社会に残していくための技術として注目されており、文化財の保存とデジタル技術を融合した研究や社会実装を展開する人材が求められている。歴史都市京都に位置する工学系大学である本学ならではの、伝統と先端技術をつなぎ、持続的社会の実現に貢献し得る研究成果や人材を輩出できる人物を求める。	1名	担当業務： 構造力学、構造設計学の分野に関する教育、研究指導および研究 担当科目： 【学部】 建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、建築構造設計学Ⅰ・Ⅱ 建築構造材料実験、造形材料、デザイン建築学演習 建築設計実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 【大学院】 都市・建築再生学演習Ⅰ・Ⅱ、都市設計実習 建築力学・構造特論 建築構造設計マネジメント、建築構造設計技術	大分類: 社会基盤 小分類: 構造工学、地震工学 大分類: 社会基盤 小分類: 建築構造、材料	教授	・建築構造、木質構造、デジタル技術に関する教育および研究指導ができる者。 ・土壁などの木質構造、保存再生、歴史的建造物や日本の伝統技術とデジタル技術を繋げる研究実績を有していることが望ましい。 ・材料実験、構造実験など実験経験を有していることが望ましい。 ・建物の耐震性に関する、実験的・解析的研究実績を有していることが望ましい。 ・海外での研究経験を有し、複数の英語論文業績を有していることが望ましい。 ・設計実習の教育指導実績を有していることが望ましい。			jrqi=saiyou25@jm.kit.ac.jp
21	基盤科学系	経済学分野	京都工芸繊維大学基盤科学系では、広くグローバルな視野から人間の経済活動を分析し、国際社会のアクチュアルな動きに迫ることができる、経済学専門の准教授1名を募集いたします。	1名	担当業務： ・研究業務: 経済学分野における専門的研究の推進 ・運営・社会貢献業務: 大学および基盤科学系における各種委員会業務、管理運営業務、入学者選抜に関する業務 担当科目： ・学部(全学共通教育)における「経済学」、「経済学入門」、「社会と経済」等の講義(セミナー形式を含む) ・大学院における専門科目の講義および研究指導・論文指導	大分類: 人文・社会 小分類: 理論経済学	准教授				jrqi=saiyou26@jm.kit.ac.jp
22	基盤科学系	教育社会学分野	京都工芸繊維大学基盤科学系では、大学では、教育格差やジェンダー不均衡に関する高度な実証研究の成果を教職課程に還元して質の高い教員を養成するとともに、全学的なダイバーシティ推進や女子学生支援を牽引していただくため、教育社会学専門の教授1名を公募いたします。	1名	担当業務： ・研究業務: 教育社会学分野における専門的研究の推進 ・運営・社会貢献業務: 大学および基盤科学系における各種委員会業務、管理運営業務、入学者選抜に関する業務 担当科目： ・学部(教職専門科目)における「教育社会学」、「特別活動論」、「現代教師論」等の講義(セミナー形式を含む) ・大学院における専門科目の講義および研究指導・論文指導	大分類: 人文・社会 小分類: 教育社会学	教授				jrqi=saiyou27@jm.kit.ac.jp